

令和6年度広島の拠点性強化に向けた懇話会 開催記録

1 開催日時

令和6年9月30日（月）15:00～16:45

2 開催場所

広島市役所 本庁舎10階 市長応接室2

3 出席委員（順不同・敬称略）

芦谷 茂 中国経済連合会会長
池田 晃治 広島商工会議所会頭
越智 光夫 広島大学学長
若林 真一 広島市立大学学長
竹井 光子 広島修道大学副学長（矢野泉学長の代理出席）
松井 一實 広島市長

4 議事内容

広島の拠点性強化に向けて（共助の精神に基づく「学生・若者に優しいまち」づくり）

5 主な意見等

- ・ 学生自身が企画するといった視点や取組を取り入れて、学生たちが社会に参画していくことが有用ではないか。
- ・ 広島で学んだ後、一度転出した学生が広島に戻って来たいと思った時に、大学の同窓会などと連携しながら、学生と地元企業とのマッチングを支援できるような仕組みがあると良いのではないか。
- ・ 若者に魅力的なまちづくりという点で、広島でも音楽を十分楽しめるといふ環境づくりが必要ではないか。
- ・ 学生への食料・日用品の支援は良いアイデアだと思うが、学生が就職の際に広島を選択することにはつながりにくいのではないか。一方で、アントレプレナーやベンチャーを立ち上げる学生への支援も重要であると考えため、学生が就職の際に広島を選択することにつなげるにはどちらが良いか、十分に検討する必要があるのではないか。
- ・ 若者の定住には居心地の良さ、自己実現性、自分らしさの三つの要素が必要になるという研究がある。そのため、企業を始め、自治体や地域コミュニティ、家族が一体となって、若い人たちに地元の地域の良さや地元があなたを求めているといったことをしっかりと伝えることで、地元に住みたいとか、地元に戻ってきたいと思うような心のつながりを作っていく必要があるのではないか。

- 学生が地元企業のことをあまり知らないということがあるため、産学官が一体となって、こんな企業が中国地方にあるというPRを行っていくことが必要ではないか。また、今の若者が魅力を感じるICTやDX分野の企業が広島市で育っていないため、産学官で連携して、スタートアップや企業誘致を行っていくことも重要ではないか。
- 企業と行政が一緒になって、子育て世代が子育てをしながら自己実現ができる環境づくりに取り組んでいかなければならないと思う。
- 学生にとって利便性の高い形として、地元企業を各大学に集めて企業説明会を開催することも考えられる。